



2025年6月2日 発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2

梅雨の季節となりました。天気の変わりやすいこの時期は、身体も適応していくのに精いっぱいです。体調を崩しやすいので、十分に注意が必要です。バランスのよい食事や睡眠をしっかりととり、元気に過ごせるようにしましょう。疲れている？と感じたら早めに身体を休めましょう。

《 5月の感染症情報 》

RSウイルス感染症 … 6名

お知らせ

歯科検診

6月19日（木）9時～

歯科検診は虫歯の有無だけでなく

- ・ 歯並びやかみ合わせ
- ・ 歯垢がついてないか
- ・ 歯肉が腫れていないか

などを調べます。

朝食後はていねいに歯みがきをして登園しましょう。
お休みした場合は後日、保護者の方で池田歯科（園囑託
歯科医）へ受診していただきます。歯科検診結果は、
後日、別紙でお伝えいたします。

食中毒

食中毒は年間を通して起こりますが、気温の高くなるこの時期は「細菌性」の食中毒が多くなりますので、ご注意ください。

保育園で子どもたちが使っている水筒はカビが発生しやすいです。また、洗い残しは食中毒の可能性を高めてしまいます。水筒やボトル用のスポンジに食器用洗剤をつけてしっかり洗い、キャップ部分の細かいくぼみも丁寧に洗いましょう。同時にしっかりと乾燥させることが大切です。乾燥が不十分だと、雑菌が繁殖してしまいます。また、パッキンなどにカビが付いていたら、食器用漂白剤で浸けおきするか、パッキンの買い替えをおすすめします。水筒の素材やパーツによって洗浄・消毒方法が異なるので、水筒の取扱説明書を確認して行いましょう。毎日、使う水筒だからこそ、きっちりお手入れして安全安心に使えるといいですね。



歯と口の健康週間（6月4日～10日）

「歯みがきで じょうぶな体の 基礎づくり」

むし歯は四つの条件が揃ったときになります。

むし歯になりやすい歯並びや、歯の質、唾液の性質など、遺伝的なものもありますが、環境に左右されることが多く、食事や飲み物の摂り方、歯みがきなどの生活習慣がむし歯につながります。

食べた後には、歯みがきをするようにしましょう。できなければ、お茶かお水を飲ませたりすることでも、むし歯を予防できます。

Q. 保育園や幼稚園の歯科検診で何も指摘されなければ安心していいですか？

A. 幼稚園や保育園の歯科検診は、集団でのスクリーニング検査です。

多くの子どもを対象に、短時間に可能な方法で、お母さんや子どもが気付いていないむし歯や歯並びなどを識別することが目的です。治療が滞っているむし歯などの治療を促すことも目的です。実施回数も年に1回か2回です。急速に成長するお子さんの成長の観察や一人ひとりの子どもにあった歯磨き指導など健康づくりの面からも、適切な環境下での診査や確実な診断が可能な歯科医院での定期健診も併せて受けると良いでしょう。小児歯科専門の歯科医院であれば、子ども成長にあったより細やかな健診を受けられます。

「日本歯科医師会」「日本小児歯科学会」より抜粋

